

Sun Java™ System Directory Proxy Server リリースノート (圧縮アーカイブ用)

バージョン 5.2 2005Q1

Part No. 819-2597

このリリースノートには、Sun Java System Directory Proxy Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブ (patchzip) に関する重要な情報が含まれています。

このリリースノートの最新バージョンは、Sun Java System の製品文書が掲載されている Web サイト <http://docs.sun.com/prod/sunone> で確認できます。ソフトウェアのインストールおよび設定を行う前に、この Web サイトを参照してください。また、その後も定期的に Web サイトを参照して、最新のリリースノートや製品マニュアルを確認してください。

このリリースノートは、次の節で構成されています。

- [リリースノートの変更履歴](#)
- [Directory Proxy Server 5.2 2005Q1 の概要](#)
- [この更新版で修正されたバグ](#)
- [インストール情報](#)
- [既知の問題および制限](#)
- [問題の報告とフィードバックの方法](#)
- [その他の情報](#)

このリリースノートで参照先として示しているサードパーティの URL で、追加情報や関連情報を得ることができます。

注 米国サンマイクロシステムズ社は、このリリースノートで示しているサードパーティの Web サイトを使用できるかどうかについては責任を負いません。また、これらの Web サイトまたはリソースで利用可能なコンテンツ、広告、製品、またはその他の資料を保証したり、これらに対して責任を負ったりすることはありません。さらに、これらの Web サイトまたはリソース上で、またはこれらを通して利用可能なコンテンツ、商品、またはサービスにより生じた、またはこれらを使用または信用したことに関連する実際の、または申し立てられた損害や損失に対しても責任を負いません。

リリースノートの変更履歴

表 1 変更履歴

日付	変更点
2005年3月29日	商用リリースバージョン

Directory Proxy Server 5.2 2005Q1 の概要

これは Directory Proxy Server 5.2 の圧縮アーカイブのインストールの保守更新版です。この更新は Directory Proxy Server 5.2 でのみ実行できます。この更新は、Directory Proxy Server の Directory Proxy Server 5.2 より前のバージョンでは実行できません。

このリリースノートでは、Directory Proxy Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブに関連する問題について説明します。新しい機能と拡張機能、既知の問題と制限、および Directory Proxy Server 5.2 2005Q1 に関連したその他の情報は、メインの Directory Proxy Server リリースノートに記載されています。

サポートされるプラットフォーム

Directory Proxy Server 5.2 2005Q1 は次のプラットフォームで使用できます。

- Sun Solaris 8 for UltraSPARC (32 ビットおよび 64 ビット)
- Sun Solaris 9 for UltraSPARC (32 ビットおよび 64 ビット)
- Sun Solaris 10 for SPARC (64 ビット)
- Sun Solaris 9 for x86 (IA-32)
- Sun Solaris 10 for x86 (IA-32)
- Microsoft Windows 2000 Server および Advanced Server SP 4 (IA-32)
- Red Hat AS 2.1 (IA-32) U3
- Red Hat AS 3.0 (IA-32) U2

この更新版で修正されたバグ

Directory Proxy Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブ固有のバグは修正されていません。Directory Proxy Server 5.2 2005Q1 製品で修正されたバグのリストについては、メインの『Directory Proxy Server リリースノート』を参照してください。

インストール情報

パッチの要件とインストールの詳細は、次の節を参照してください。

- [パッチの要件について](#)
- [インストール一般情報](#)

パッチの要件について

この更新により、本製品は Sun Java™ Enterprise System 2005Q1 に含まれている Directory Proxy Server 製品と同じ内容になります。この更新版は、次のパッチ ID で <http://sunsolve.sun.com> からダウンロードできます。

表 2 Directory Proxy Server 5 Update 2005Q1 の圧縮アーカイブの整合パッチ

プラットフォーム	パッチ番号	パッチの説明
Solaris Sparc	119162-01	Directory Proxy Server 5.2 Patch3 - コアパッチ - Solaris Sparc
Solaris x86	119163-01	Directory Proxy Server 5.2 Patch3 - コアパッチ - Solaris x86
Linux	119164-01	Directory Proxy Server 5.2 Patch3 - コアパッチ - Linux
Windows	119165-01	Directory Proxy Server 5.2 Patch3 - コアパッチ - Windows

地域対応化されたパッチは、どのオペレーティングシステムを使用していても使用できます。地域対応化されたパッチ ID は次のとおりです。

表 3 Directory Proxy Server 5 Update 2005Q1 の圧縮アーカイブの地域対応化されたパッチ

言語	パッチ番号	パッチの説明
de	119223-01	Directory Proxy Server 5.2 パッチ 3: ドイツ語 (DE) 対応版リソース - (patchzip)
es	119224-01	Directory Proxy Server 5.2 パッチ 3: スペイン語 (ES) 対応版リソース - (patchzip)
fr	119225-01	Directory Proxy Server 5.2 パッチ 3: フランス語 (FR) 対応版リソース - (patchzip)

表 3 Directory Proxy Server 5 Update 2005Q1 の圧縮アーカイブの地域対応化されたパッチ (続き)

言語	パッチ番号	パッチの説明
ja	119226-01	Directory Proxy Server 5.2 パッチ 3: 日本語 (JA) 対応版リソース - (patchzip)
ko	119227-01	Directory Proxy Server 5.2 パッチ 3: 韓国語 (KO) 対応版リソース - (patchzip)
zh	119228-01	Directory Proxy Server 5.2 パッチ 3: 簡体字中国語 (ZH) 対応版リソース - (patchzip)
zh_TW	119229-01	Directory Proxy Server 5.2 パッチ 3: 繁体字中国語 (ZH_TW) 対応版リソース - (patchzip)

インストール一般情報

この節では、`<SERVER ROOT>` が Directory Proxy Server 製品のインストールされているディレクトリになります。

▶ Unix プラットフォームで Directory Proxy Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブにアップグレードする

- すべてのコンソールウィンドウを閉じます。インストールスクリプトを実行するときにコンソールが開いていると、スクリプトがコンソールバイナリをアップグレードできません。
- 圧縮アーカイブ `patchzip-dps-5.2Patch3--<platform>.tar.gz` を次のように解凍します。

```
# mkdir MyDirectory
# cd MyDirectory
# cp patchzip-dps-5.2Patch3--<platform>.tar.gz .
# gunzip patchzip-dps-5.2Patch3--<platform>.tar.gz
# tar xvf patchzip-dps-5.2Patch3--<platform>.tar
```

- `<SERVER ROOT>` の所有者として、インストールスクリプトを実行するための正しいアクセス権を設定します。

```
# chmod +x dps_install.sh
```

- インストールスクリプトを実行します。

- Directory Proxy Server と Administration Server をアップグレードするには、次のコマンドを実行します。

```
# sh dps_install.sh <SERVER ROOT> UPGRADE_ADMIN
```

- Directory Proxy Server のみをアップグレードするには、次のコマンドを実行します。

```
# sh dps_install.sh <SERVER ROOT> NOT_UPGRADE_ADMIN
```

インストールスクリプトによって Directory Proxy Server が再起動します。

► **Windows 2000 Server と Advanced Server SP 4 で Directory Proxy Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブにアップグレードする**

1. 管理者または管理者グループのメンバになります。
2. すべてのコンソールウィンドウを閉じます。インストールスクリプトを実行するときにコンソールが開いていると、スクリプトがコンソールバイナリをアップグレードできません。
3. イベントビューアを閉じます。
4. 圧縮アーカイブ patchzip-dps-5.2Patch3--WINNT.zip を次のように解凍します。

```
# mkdir <MyDirectory>
# cd <MyDirectory>
# copy patchzip-dps-5.2Patch3--WINNT.zip .
# unzip patchzip-dps-5.2Patch3--WINNT.zip
```
5. インストールスクリプトを実行します。
- Directory Proxy Server と Administration Server をアップグレードするには、次のコマンドを実行します。

```
# dps_install.bat <SERVER ROOT> <ADMIN ID> <ADMIN PASSWORD> UPGRADE_ADMIN
```


- Directory Proxy Server のみをアップグレードするには、次のコマンドを実行します。

```
# dps_install.bat <SERVER ROOT> <ADMIN ID> <ADMIN PASSWORD>
NOT_UPGRADE_ADMIN
```


インストールスクリプトによって Directory Proxy Server が再起動します。
6. システムをリブートします。

► **地域対応化された環境で Directory Proxy Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブにアップグレードする**

1. これまでの手順の説明に従って、各オペレーティングシステムの英語版を圧縮アーカイブにアップグレードします。
2. ローカルのパッチファイルを /tmp ディレクトリまたは選択した別のディレクトリに抽出します。パッチファイルの名前は patchzip-dps-5.2Patch3-<locale>.zip です。
3. Unix プラットフォームの <SERVER ROOT> の所有者として、または Windows プラットフォームの管理者として、-o オプションを使ってパッチファイルを解凍し、既存のファイルに上書きします。たとえば、次のようにします。

```
# unzip -o patchzip-dps-5.2Patch3-ja.zip -d <SERVER ROOT>
```

既知の問題および制限

Directory Proxy Server 5.2 2005Q1 の圧縮アーカイブでは、既知の問題および制限はありません。Directory Proxy Server 5.2 2005Q1 製品の既知の問題および制限のリストについては、メインの『Directory Proxy Server リリースノート』を参照してください。

問題の報告とフィードバックの方法

この更新で問題が発生した場合は、次のいずれかの方法で Sun カスタマサポートにご連絡ください。

- Sun Software Support Services
<http://www.sun.com/service/sunone/software>
このサイトには、Online Support Center、ProductTracker へのリンクと、保守プログラムやサポート連絡先の電話番号へのリンクがあります。
- SunSolve サポート Web サイトは次のとおりです。
<http://sunsolve.sun.com>
このサイトには、パッチ、サポートマニュアル、セキュリティ情報、および Sun System Handbook が含まれています。
- 保守契約先に電話連絡してください。

最善の問題解決のため、サポートに連絡する際には次の情報をご用意ください。

- 問題が発生した状況および操作への影響などの、問題の具体的説明
- マシン機種、OS バージョン、および製品のバージョン (問題に関係するパッチおよびその他のソフトウェアを含む)
- 問題を再現するための具体的な手順の説明
- エラーログまたはコアダンプ

Sun Java System Directory Proxy Server の話題が議論されている次のフォーラムを購読すると、有益な情報を得られます。<http://swforum.sun.com>

コメントの送付先

Sun では、マニュアルの品質を向上するために、お客様からのコメントや提案をお待ちしております。Sun へのフィードバックを送信するには、次の Web サイトのフォームを使用してください。
<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

該当するフィールドに、マニュアルの正式なタイトルと Part No. を入力してください。Part No. は、マニュアルのタイトルページまたはドキュメントの先頭に記載されています。通常、7桁または9桁の数字です。たとえば、この文書の Part No. は 819-2597 です。

その他の情報

次の Web サイトには、役立つ Sun Java System 情報があります。

- Sun Java System マニュアル
<http://docs.sun.com/db/prod/entsys.05q1>
- Java Enterprise System ソフトウェアサービス
<http://www.sun.com/service/products/software/javaenterprisesystem>
- Sun Java System ソフトウェア製品およびサービス
<http://www.sun.com/software>
- Sun Java System サポートおよび Knowledge Base
<http://sunsolve.sun.com>
- Sun サポートおよびトレーニングサービス
<http://www.sun.com/supporttraining>
- Sun Java System コンサルティングおよびプロフェッショナルサービス
<http://www.sun.com/service/products/software/javaenterprisesystem>
- Sun 開発者向け情報
<http://developers.sun.com>
- Sun 開発者サポートサービス
<http://www.sun.com/developers/support>
- Sun ソフトウェア一覧
<http://www.sun.com/software>

Copyright © 2005 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

本書で説明する製品で使用されている技術に関連した知的所有権は、Sun Microsystems, Inc. に帰属します。特に、制限を受けることなく、この知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> の一覧に示される米国特許、および米国をはじめとする他の国々で取得された、または申請中の特許などが含まれています。

SUN PROPRIETARY/CONFIDENTIAL.

U.S. Government Rights - Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

ご使用はライセンス条項に従ってください。

本製品には、サードパーティが開発した技術が含まれている場合があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいて開発されている場合があります。

Sun、Sun Microsystems、Sun ロゴ、Java、および Solaris は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用されている、米国および他の国々における同社の商標または登録商標です。